

愛知県感染症情報

AICHI Infectious Diseases Weekly Report

2017 年 15 週 (4 月 2 週 4/10~4/16)

2017 年 3 月報

愛知県感染症情報センター (愛知県衛生研究所内)

<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/kansen.html>

E-mail: eiseiken@pref.aichi.lg.jp

連絡先: 052-910-5619 (企画情報部)

今週の内容

◆トピックス

インフルエンザ、A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎、流行性耳下腺炎、ゴールデンウィークにおける海外での感染症予防、集団かぜの発生

◆病原体検出情報

◆定点医療機関コメント

インフルエンザ、感染性胃腸炎、咽頭結膜熱、A 群溶血性レンサ球菌感染症、マイコプラズマ感染症、ヒトメタニューモウイルス感染症等

◆全数把握感染症発生状況 ()内は件数。

結核(41)、アメーバ赤痢(1)、急性脳炎(1)、クロイツフェルト・ヤコブ病(1)、劇症型溶血性レンサ球菌感染症(3)、後天性免疫不全症候群(2)、侵襲性肺炎球菌感染症(2)、梅毒(4)

◆2017 年 3 月報

◆定点把握感染症報告数 (保健所別、年齢別)

○「グラフ総覧」は <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/graph.pdf>

トピックス

◆インフルエンザ(図1)【4月5日警報解除】

すべての保健所(名古屋市は16保健所合計)で警報継続の指標(定点当たり報告数10)を下回ったことから、愛知県は4月5日にインフルエンザ警報を解除しました。

15週の定点当たり報告数は3.10、14週768人→15週604人(0.79倍)です。2016/2017シーズンに病原体定点等から寄せられた検体よりA型(AH3、AH1pdm09)及びB型(ビクトリア系統、山形系統)インフルエンザウイルスが検出されています。

【参考ページ】愛知県の“インフルエンザ警報”を解除しました(4月5日発表)

<http://www.pref.aichi.jp/soshiki/kenkotaisaku/28influ-kaijyo.html>

保健所別・定点医療機関当たりのインフルエンザ報告数マップ

http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/influ_map_new.html

インフルエンザ情報ポータルサイト(愛知県)

<http://www.pref.aichi.jp/kenkotaisaku/influ/index.html>

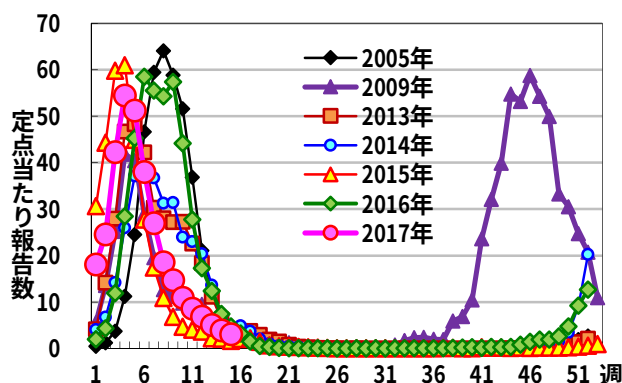


図1 インフルエンザ

◆A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎

15週の定点当たり報告数は1.49、14週214人→15週272人(1.27倍)です。

【参考ページ】A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎について

http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/a_youren.html

◆流行性耳下腺炎(図2)

流行性耳下腺炎は、ムンプス、おたふくかぜとも呼ばれ、最も多い合併症として髄膜炎があり、学校保健安全法(第2種感染症)で出席停止期間が定められています。

15週の定点当たり報告数は0.30、14週43人→15週54人(1.26倍)です。

【参考ページ】流行性耳下腺炎(国立感染症研究所)

<http://www.nih.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/529-mumps.html>

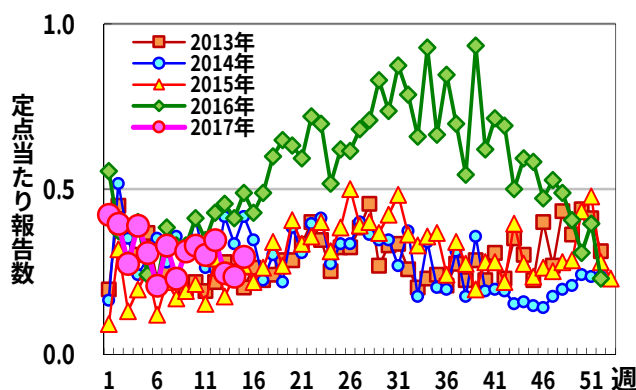


図2 流行性耳下腺炎

◆ゴールデンウィークにおける海外での感染症予防について

【参考ページ】ゴールデンウィークにおける海外での感染症予防について(厚生労働省)

http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/travel-kansenshou.html

◆集団かぜの発生(健康対策課発表)

発表日	管轄保健所	ネットあいち URL
4月17日	瀬戸、新城、衣浦東部	集団かぜの発生について (2016-2017 シーズン) http://www.pref.aichi.jp/kenkotaisaku/influ/syuudankaze2.html http://www.pref.aichi.jp/kenkotaisaku/influ/ichiran.pdf
4月18日	半田	
4月19日	一宮	

病原体検出情報 —2017年疾患別ウイルス検出速報— (2017年4月15日現在)

	感染性胃腸炎	手足口病	ヘルパンギーナ	咽頭結膜熱	流行性角結膜炎	無菌性髄膜炎	脳炎・脳症	* インフルエンザ 2016/2017 シーズン	** 麻しん・風しん
患者数	71	6	1	6	1	1	6	526	2(4)
CV-A6	-	-	1	-	-	-	-	-	-
CV-A10	-	-	-	-	-	-	-	1	-
CV-A16	-	1	-	-	-	-	-	-	-
E-6	-	-	-	-	-	-	-	1	-
HRV	-	-	-	-	-	-	-	1	-
FluAH1pdm09	-	-	-	-	-	-	-	10	-
FluAH3	-	-	-	-	-	-	-	383	-
FluB(Vic)	-	-	-	-	-	-	-	19	-
FluB(山形)	-	-	-	-	-	-	-	5	-
Rota A G1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
Rota A G3	6	-	-	-	-	-	-	-	-
Rota A G8	1	-	-	-	-	-	-	-	-
Rota A G9	2	-	-	-	-	-	-	-	-
NV GII	19	-	-	-	-	-	-	-	-
SV	1	-	-	-	-	-	-	-	-
AstV	5	-	-	-	-	-	-	-	-
Ad-1	1	-	-	1	-	-	-	1	-
Ad-2	1	-	-	1	-	-	-	1	-
Ad-3	-	-	-	-	-	-	-	1	-
Ad-41	2	-	-	-	-	-	-	-	-
検査中	29	3	0	4	0	0	4	45	1(1)
陰性	8	2	0	0	1	1	2	59	1(3)

*インフルエンザは2016/2017シーズン(2016年9月～)の結果

**麻しん・風しんの()内は病原体定点医療機関外からの患者数の別掲

略:ウイルス名

Ad:アデノウイルス、AstV:アストロウイルス、CV:コクサッキーウイルス(Cox.)、E:エコーウイルス、

FluAH1pdm09:インフルエンザウイルスAH1pdm2009、FluAH3:A香港型インフルエンザウイルス、

FluB(Vic):B型インフルエンザウイルス(ビクトリア系統)、FluB(山形):同(山形系統)、HRV:ヒトライノウイルス、

NV:ノロウイルス、Rota A:ロタウイルスA、SV:サボウイルス

定点医療機関コメント（名古屋市除く）

尾張西部地区

- 溶連菌感染症が目立ちました。
感染性胃腸炎で1歳代に3人ロタ陽性例あり。
【一宮市 あさのこどもクリニック】
- 感染性胃腸炎あり
インフルエンザはなし
【一宮市 後藤小児科医院】
- インフルA型 2名
インフルB型 2名
【稲沢市 愛知県厚生農業協同組合連合会稲沢厚生病院】
- ウイルス性胃腸炎増加
インフルエンザはなし
【稲沢市 こどものお医者さんおがわクリニック】
- インフルエンザ13名(A型 9名 B型 4名)
溶連菌感染症、感染性胃腸炎やや目立ちます。
【江南市 みやぐちこどもクリニック】
- 手足口病、アデノ感染症出はじめました。
RSV 2例
ヒトメタニューモ 9例
【岩倉市 医療法人なかよしこどもクリニック】
- インフルエンザA 2名
【北名古屋市 田中クリニック】
- インフルエンザA 3名
インフルエンザB 4名
突発性発疹 1歳男
【清須市 丹羽医院】
- インフルエンザA型 0名
インフルエンザB型 2名
【津島市 医療法人参育会加藤医院】
- インフルエンザはすべてB型でした。
【愛西市 医療法人谷本医院】

尾張東部地区

- インフルエンザなかなかありません。
インフルエンザA型 2名 B型 3名
その他目立った感染症なし。
【尾張旭市 医療法人誠和会佐伯小児科医院】
- インフルエンザA型 1例
インフルエンザB型 2例
【長久手市 医療法人水野内科】
- 胃腸炎が増えています。
【日進市 みやがわクリニック】
- インフルエンザ陽性報告4名
成人2名、小児2名
B型 2名(全て小児)、A型 2名
fluBはまだあります。
ロタ、ADVもパラパラ出ます。
【春日井市 春日井市民病院】
- 目立つものありません。
【春日井市 朝宮こどもクリニック】
- インフルエンザはA型 3例、B型 4例です。
【小牧市 志水こどもクリニック】
- インフルエンザA型 1名
【半田市 医療法人林医院】
- インフルエンザA型 1名
インフルエンザB型 2名
【南知多町 医療法人大岩医院】
- アデノウイルス 2歳女
インフルエンザB型 9名
ロタウイルス 4名
【大府市 まえはらこどもクリニック】
- インフルエンザはB型 2名のみ
マイコプラズマ感染症 1名(12歳)
サルモネラ腸炎(O4) 1名(3歳)
アデノウイルス感染症 5名(1歳~5歳)
【東海市 もしもしこどもクリニック】
- ロタウイルス(男 2歳1名、8歳1名、
女 1歳1名、4歳1名、5歳2名)
インフルエンザA型 女 2名
インフルエンザB型 男 2名
【東海市 公立西知多総合病院】

西三河地区

- インフルエンザ陽性A型 3名
【豊田市 愛知県厚生農業協同組合連合会足助病院】
- インフルエンザ陽性 A型 9歳男、3歳女
アデノウイルス陽性 2歳男
E.coli (O1) 28歳女
【豊田市 星ヶ丘たなかこどもクリニック】
- インフルエンザ陽性 B型 1名
【豊田市 すくすくこどもクリニック】
- インフルエンザB型 1名
【岡崎市 医療法人志貴こどもクリニック】
- マイコプラズマ肺炎 2歳女
インフルエンザA型 1名 B型 4名
【岡崎市 医療法人川島小児科水野医院】
- アデノ(咽) 7歳女、2歳女、2歳男
ヒトメタニューモ
1歳男 2名、2歳男、3歳女、9か月女
病原大腸菌O1(+) 3歳男
カンピロバクター 3歳男
ヒトメタニューモが多いです。
【岡崎市 花田こどもクリニック】
- インフルエンザ計3名 全てA型
【岡崎市 栗屋医院】
- インフルエンザA型 1名 B型 1名
【岡崎市 医療法人永坂内科医院】
- アデノウイルス感染症、インフルエンザ感
染症散見されます。
【岡崎市 竜美ヶ丘小児科】
- インフルエンザA型 2名 B型 5名
溶連菌感染症 9名
【知立市 宮谷クリニック】
- インフルエンザA型 9名 B型 5名
【安城市 愛知県厚生農業協同組合連合会安城更生病院】
- インフルエンザ一部地区で出ています。
【碧南市 永井小児クリニック】
- インフルエンザA型 1名
【安城市 医療法人鳥居医院】
- インフルエンザA型 2名 B型 3名
【刈谷市 田和小児科医院】
- インフルエンザA型 1名 B型 1名
【西尾市 西尾市民病院】
- B型インフルエンザ 2名
【西尾市 山岸クリニック】

東三河地区

- 感染性胃腸炎が増えています。
【豊橋市 医療法人こどもの国大谷小児科】
- インフルエンザA型 5名
インフルエンザB型 3名
【豊橋市 医療法人山本内科】
- インフルエンザB型 8名
【豊橋市 医療法人杉浦内科】
- インフルエンザA型 2名
【豊橋市 おだかの医院】
- インフルエンザA型 7名
インフルエンザB型 6名 計13名
【豊橋市 医療法人羽柴クリニック】
- インフルエンザA型 3名 B型 3名
【豊川市 豊川市民病院】
- インフルエンザA型 1名 B型 4名
【豊川市 ささき小児科】
- インフルエンザB型 7歳 3歳
【田原市 愛知県厚生農業協同組合連合会渥美病院】
- ヒトメタニューモウイルス 2名
インフルエンザA型 2名
マイコプラズマ 3名
アデノウイルス 1名
ロタウイルス 2名
病原性大腸菌O6 1名
【蒲郡市 畑川クリニック】

全数把握感染症発生状況（愛知県全体・保健所受理週別）2017 年 4 月 19 日現在

一～三類感染症

＜関連リンク＞ 届出基準 <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/todokedeki jun161121.pdf>

● 結核（二類感染症）

報告保健所	2017 年 15 週報告数			2017 年総計(1～15 週)		
	総数	喀痰塗抹検査 陽性者数再掲	無症状病原体 保有者数再掲	総数	喀痰塗抹検査 陽性者数再掲	無症状病原体 保有者数再掲
名古屋市(16 保健所合計)	12	4	1	169	41	46
豊田市				14	2	4
豊橋市				22	5	9
岡崎市	5	2	2	11	3	3
一 宮	1	1		33	15	11
瀬 戸	5		2	27	3	10
半 田	1			19	4	9
春日井	9	1	4	44	9	16
豊 川				15	6	1
津 島	2			20	4	3
西 尾	1	1		10	5	
江 南	1	1		11	3	2
新 城				1		
知 多	3		2	20	6	4
清 須	1			5	3	1
衣浦東部				20	6	7
合計	41	10	11	441	115	126

四類・五類感染症（全数把握）（推定感染経路、推定感染地域は確定も含む）

● **アメーバ赤痢（五類感染症）**

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染経路	推定感染地域
1	衣浦東部	63歳	男	腸管アメーバ症	性的接触	国内

● **急性脳炎（五類感染症）**

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染地域
1	瀬戸	13歳	男	病原体不明	ベトナム

● **クロイツフェルト・ヤコブ病（五類感染症）**

番号	報告保健所	年齢	性別	病型
1	豊川	66歳	男	古典型

● **劇症型溶血性レンサ球菌感染症（五類感染症）**

番号	報告保健所	年齢	性別	推定感染地域
1	名古屋市	91歳	女	国内
2	名古屋市	86歳	男	国内
3	豊橋市	76歳	女	国内

● **後天性免疫不全症候群（五類感染症）**

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染経路	推定感染地域
1	名古屋市	41歳	男	AIDS	不明	不明
2	名古屋市	59歳	男	AIDS	性的接触	国内

● **侵襲性肺炎球菌感染症（五類感染症）**

番号	報告保健所	年齢	性別	予防接種歴	推定感染地域
1	岡崎市	70歳	女	不明	国内
2	岡崎市	66歳	男	不明	国内

● **梅毒（五類感染症）**

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染経路	推定感染地域
1	名古屋市	66歳	男	早期顕症	性的接触	国内
2	一宮	44歳	男	早期顕症	性的接触	国内
3	春日井	53歳	男	無症候	性的接触	国内
4	清須	30歳	男	無症候	性的接触	国内

2017年3月報

(2017年4月14日現在、診断週に基づく集計)

3月の一～五類感染症(全数把握対象)発生状況 [() は無症状病原体保有者再掲]

2016～2017年に報告のあった 疾病名及び病型 () 内は全数把握対象疾病数		2017年3月			2017年 累計 ＜愛知県全体＞	2016年 総計 ＜愛知県全体＞
		愛知県 (名古屋市除く)	名古屋市	愛知県全体		
一類 (7)	発生報告なし	0	0	0	0	0
二類 (7)	結核	100 (27)	66 (16)	166 (43)	371 (104)	1,742 (446)
三類 (5)	コレラ	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)
	細菌性赤痢	1 (0)	0 (0)	1 (0)	3 (0)	9 (2)
	腸管出血性大腸菌感染症	4 (1)	0 (0)	4 (1)	9 (2)	160 (53)
	腸チフス	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	12 (2)
四類 (44)	E型肝炎	1	1	2	3	5
	A型肝炎	0	0	0	0	5
	オウム病	0	0	0	0	1
	ジカウイルス感染症*	0	0	0	0	2
	チクングニア熱	0	0	0	0	3
	つつが虫病	0	0	0	0	3
	デング熱	0	0	0	0	20
	日本紅斑熱	0	0	0	0	1
	ブルセラ症	0	0	0	1	0
	マラリア	0	0	0	1	1
	レジオネラ症	2	2	4	12	97
五類 (22)	アメーバ赤痢	1	0	1	10	68
	ウイルス性肝炎	0	0	0	0	5
	内訳	B型	0	0	0	4
		その他	0	0	0	1
	カルバペネム耐性 腸内細菌科細菌感染症	6	4	10	21	76
	急性脳炎	0	1	1	11	39
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	0	1	13
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	2	3	9	26
	後天性免疫不全症候群	1	3	4	13	99
	内訳	無症候性キャリア	0	2	5	64
		AIDS	0	1	6	32
		その他	1	0	2	3
	ジアルジア症	0	0	0	0	1
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1	1	2	5	25
	侵襲性髄膜炎菌感染症	1	1	2	3	6
	侵襲性肺炎球菌感染症	13	6	19	70	156
	水痘（入院例に限る。）	1	1	2	4	14
	梅毒	11	16	27	56	258
	内訳	無症候	2	8	16	69
		早期顕症	9	7	16	180
		晩期顕症	0	0	2	9
		先天梅毒	0	1	1	0
	播種性クリプトコックス症	2	1	3	4	11
	破傷風	0	0	0	0	5
	風しん	0	0	0	0	20
	麻しん	0	0	0	1	5
	薬剤耐性 アシネトバクター感染症	0	0	0	0	2
総 計		146	105	251	608	2,891

* 2016年2月15日に「ジカウイルス感染症」が四類感染症に追加されました。

五類感染症(月報定点把握対象)発生状況

	疾病名		2017年3月			2017年 累計		2016年 総計	
			愛知県 ＜名古屋市除く＞	名古屋市	愛知県 全体	愛知県全体		愛知県全体	
						合計		合計	
性 感 染 症 定 点	性器クラミジア感染症	男	33	37	70	203	351	905	1,555
		女	32	15	47	148		650	
	性器ヘルペスウイルス感染症	男	12	11	23	48	128	231	633
		女	15	19	34	80		402	
	尖圭コンジローマ	男	11	10	21	48	76	207	313
		女	10	1	11	28		106	
	淋菌感染症	男	8	24	32	96	113	483	554
		女	6	1	7	17		71	
基 幹 定 点	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		72	12	84	250		957	
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		9	0	9	31		102	
	薬剤耐性緑膿菌感染症		0	0	0	0		0	

感染症の類型及び定義(感染症法)

2016年11月21日現在

類型	定義
一類感染症 (7疾病)	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が極めて高い感染症。患者、疑似症患者及び無症状病原体保有者について入院等の措置を講ずることが必要。
二類感染症 (7疾病)	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が高い感染症。患者及び一部の疑似症患者について入院等の措置を講ずることが必要。
三類感染症 (5疾病)	感染力及び罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性は高くないが、特定の職業への就業によって感染症の集団発生を起こしうる感染症。患者及び無症状病原体保有者について就業制限等の措置を講ずることが必要。
四類感染症* (44疾病)	動物、飲食物等の物件を介して人に感染し、国民の健康に影響を与えるおそれがある感染症(人から人への伝染はない。媒介動物の輸入規制、消毒、物件の廃棄等の物的措置が必要。)
五類感染症 (47疾病)	国が感染症の発生動向の調査を行い、その結果等に基づいて必要な情報を国民一般や医療関係者に情報提供・公開していくことによって、発生・まん延を防止すべき感染症。
新型インフルエンザ等感染症 (2疾病)	インフルエンザのうち当該感染症に対する免疫を獲得していないことから、生命及び健康に重大な影響を与えるおそれのあるもの。新型インフルエンザ(新たに人から人に伝染する能力を獲得したウイルスのよるもの)及び再興型インフルエンザ(かつて世界規模で流行したウイルスによるもの)が平成20年5月12日に指定された。
指定感染症	既知の感染症(一～三類及び新型インフルエンザ等感染症を除く)のうち、一～三類感染症と同程度の危険性を有し、それらに準じた措置を実施しなければ、国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがあるもの。一年間に限定した指定。
新感染症	人から人に伝染すると認められる疾病であって、既に知られている感染性の疾病とその病状又は治療の結果が明らかに異なるもので、当該疾病にかかった場合の病状の程度が重篤であり、かつ、当該疾病のまん延により国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがあると認められるもの。

* 2016年2月15日に「ジカウイルス感染症」が四類感染症に追加されました。

2017年15週 (2017年4月10日～2017年4月16日)

愛知県衛生研究所

[illegible]

2017年15週 (2017年4月10日～2017年4月16日)

愛知県衛生研究所

[illegible]

グラフ総覧

2017年15週 (4月10日～4月16日)

愛知県 (名古屋市データ含む) の1999年13週から2017年15週までの定点当たり報告数のうち、
本年を含む過去5年間及び特徴的に推移した年についてグラフ化したものです。

*各疾病のグラフを個別に利用される場合は、衛生研究所ウェブサイトからExcelファイルをダウンロードしてください。

<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/graph.zip> *ExcelファイルはZIP圧縮してありますので適当な場所に解凍後ご利用ください。

